

## ●緑区役所の主な取組

緑区役所では、平成30年度の緑区政運営方針において、「次世代につなぐ みんなにやさしいまち～「ふるさと みどり」」を基本目標とし、その達成に向けた施策として、「安全・安心なまち」、「いきいき暮らせるまち」、「みどりの魅力あふれるまち」の3つの柱を掲げました。また、2019年10月の緑区制50周年に向けて、区民・事業者・関係団体等の皆様とともに、区制50周年を祝う機運を高めていくべく、各種事業に取り組みました。第3期みどりのわ・ささえ愛プランについても、区政運営方針に位置づけて進めています。今年度の主な新規事業を中心に実施状況を紹介します。

詳しくは区役所ホームページでも公表しています。

緑区政運営方針

検索

## 1 安全・安心なまち

## (1) 災害に強いまちづくり

小学生を対象にした減災マップづくりワークショップは、昨年度とあわせ区内16校中14校で実施しました。

また、熊本県益城町へ防災視察を実施。町役場で避難所の運営を担当した職員から、被災後から現在までの避難所における問題点や女性視点での課題などを共有。緑区における今後の防災対策に繋げていきます。

今年度の区防災講演会では、防災システム研究所 山村武彦所長をお招きし、災害現場での共助・ささえあいの取組の重要性について講演いただきました。



▲区防災講演会チラシ

## (2) 安全・安心な環境づくり

横浜市では、通学路など生活道路において、ビックデータ（ETC2.0）を活用した安全対策を進めています。今年度、中山町地区で、スムーズ横断歩道等の速度抑制対策の社会実験を実施しました。

梅田川一本橋めだか広場での休憩広場（12月）や北八潮地区尾根道等の歩行者空間（3月）を整備。

緑区の交通事故発生件数は減少傾向にありますが、高齢者の関わる事故の割合は全体の3割を占めていることから、緑区高齢者交通安全・防犯教室（1月・251人参加）等、今後も引き続き様々な機会を捉えて交通安全を呼び掛けていきます。

## 2 いきいき暮らせるまち

## (1) 第3期「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進

第3期計画3年目の中間振り返りとして、関係課ヒアリングや振り返りチェックシートの作成、次年度実施予定の区民アンケートの準備等、次期計画策定に向けた作業を進めました。

広報活動としては、カフェスタイルのプランPRイベント「みどりのわ・Café」を開催（2回（竹山・山下）・計約220人参加）するなど、昨年度に引き続き展開しました。山下地区で開催したときは、現在建設中の横浜北西線やそのトンネル上部に建設予定の山下地域ケアプラザ（仮称：2021年春開所予定）のPRも行いました。



▲ みどりのわ・Café @ 山下ふれあいまつり

## (2) 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子ども・子育て支援と次世代育成

引続き、関係団体・団体とのネットワークの活性化を図る「みどり子育て支援連絡会」を4回、児童虐待防止に向けた要保護児童対策地域協議会を、実務者会議1回、地区別連絡会8回（地区別計約200名参加）開催するなど、地域全体で子育てを見守る環境づくりを進めています。

## (3) 地域における青少年の育成（子どもたちの地域社会への参画と体験の場づくり）

緑区制50周年に向けて、「夢みどり50プラン」（区制40周年を記念して区内の小中学生が描いた10年後の緑区の姿）の実現をめざすために、区内小中学校の代表児童・生徒が集まる「夢みどりリーダー会議」を開催しました。地域での各種活動・ボランティアとしての参加などに加え、今年度は、子どもたちが魅力的に思う地域のスポットを集めたマップを作成し、まとめたものを区役所ホールで展示しました。

#### (4) 高齢者・障害者施策の推進

地域包括ケアシステムの構築の検討・推進並びに次期緑区地域福祉保健計画の策定に向けて、昨年度作成した「緑区地区別暮らしのデータ集」に関連して、介護事業者の分布や医療機関情報、各地区の地域活動数などをグラフ・マップ化した別冊版を作成しました。

介護予防活動について、今年度は、霧が丘と長津田地区で新たに元気づくりステーションが立ち上がり、全地域包括支援センター圏域に整備されました。次年度も既に数か所で立ち上げの話があり、元気づくりステーションの取組はますます広がっています。



▲元気づくりステーション  
きりともGT4

#### (5) 生涯にわたる健康づくりの推進

「食」を通じた健康づくりを推進するために、体験型食事診断を区役所で毎月開催している健康チェック「思いやり、健康づくりの日」に導入。新たな企画も取り入れながら、身近な場所で気軽に健康を振り返る機会をつくることにより、区民の健康づくりを継続的に支援していきます。また、若年層生活習慣病セミナーを地域の赤ちゃんサロンや子育て支援拠点等で展開するなど、今後も、新たな対象層へのアプローチとして地域展開を進めていきます。

緑区役所の階段に健康階段が設置されました。階段には地下1階から4階までの消費カロリーが掲示されています。制50周年を記念して、昔の中山駅の様子や、田園風景、緑区遺産等、緑区の魅力が詰まったデザインになっています。



▲緑区役所 健康階段

#### (6) 暮らしのなかのセーフティネット

生活保護受給世帯など、生活困窮者の自立に向けて、困難を抱える子どもの学習支援や就労支援を行っています。地域の学習支援団体を紹介する冊子も作成しました。活動のPRを進め、支援いただける方を増やしていきます。生活困窮者支援については、広報よこはま緑区版に9月号から連載コラムを掲載。ハローワークと連携した区役所に設置されている就労支援相談窓口「ジョブスポット」についても周知を進めています。ジョブスポット支援者269名のうち200名(74.3%)が就労開始しました。

### 3 みどりの魅力あふれるまち

#### (1) 区制50周年プロジェクト

平成31年10月の緑区制50周年に向けて、お祝いの機運を高めるため、PRグッズ作成や駅へのPR横断幕等の掲出等を実施しました。また、1月からは緑区今昔写真展(7か所)や、出生や婚姻の届出時の50周年記念お祝いメッセージカードの配布等の記念事業がスタートしました。実行委員会でも、オリジナルタオルやTシャツ、カレンダーを制作・販売する等、区民の皆様と一緒に様々なPRや関連イベントを実施しています。



▲50周年ラッピングカー

#### (2) みどりの魅力を活かした地域活性化

今年度新たに、区内に残る歴史的・自然的・文化的地域資源である「緑区遺産」をめぐる「緑区遺産ガイドウォーキング」を地区別3コースで実施。里山ガーデンでは、「50周年記念花壇」に地元自治会から協力を得て花植えや、春のお花講座等を開催しました。



▲緑区遺産ガイドウォーキング

#### (3) スポーツを通じた地域づくり

「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催に向けた機運を高めるとともに、スポーツを通じた地域づくりを進めるため、オリンピックによるパトミントンレクチャーを開催しました。(池田信太郎選手、藤原大輔選手)

#### (4) 地域力の現状を踏まえたまちづくり

三保地区では、地域の空き店舗を活用した新たな活動拠点(三保町・集合住宅1階店舗部分)を整備しました。山下地区では、地域の乗り合いバス「ささえあいバス」について、全世帯アンケート等を行いながら実証運行を進め、来年度から本格運行を行うことを決定しました。